

院長からのメッセージ



新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のニュースばかりが報道される毎日で、日本全体に「慣れ」が出ている状況です。報道には慣れても感染症予防の重要性に変化はありません。第4波によって都市部には緊急事態宣言が発出され、鹿児島県においても日常生活とは程遠い5月になっていますが、現在行っている予防法を飽きずに継続したいものです。そのような状況でも、霧島市立医師会医療センターではCOVID-19に対応しながら新病院への準備を進めております。時代とともに医療ニーズは変化しますので、十年先の医療体制を正確に予測することは難しいですが、いつの時代にも医療と教育は社会生活の基盤です。これからも皆様に頼っていただける病院として発展したいと思っております。

当院の一般患者様へのコロナワクチン投与は？

当院は一般の方のコロナワクチン集団接種機関ではありません。一般の方は霧島市コールセンターにご相談ください(0570-025-679)。当院でワクチン接種を受ける基準は、霧島市からのワクチン供給でもあり、**霧島市在住で当院通院中の患者様に限られ**、更に以下に絞ります。

- ① **主治医が当院での接種が妥当と判断した患者**：全身状態・病状から集団接種が困難と判断され、かつ外来受診が可能で2回接種が見込める患者様
- ② **過去にワクチン接種等で強い副反応が出た患者様**：花粉症や鼻炎は除きます。
- ③ **合併症・アレルギーなどで他の医療機関・接種機関では接種が困難と思われる患者様**：かかりつけ医のある方は原則としてかかりつけ医で接種計画を立てて下さい。ただし、当院が主のかかりつけ医でなくても上記事由があれば対応致します(紹介状が必要です)

当院の患者ワクチン投与計画

予約締切	1回目	2回目
5/12	5/18	6/8
5/19	5/25	6/15
5/26	6/1	6/22

当院では既に上記のコロナワクチン接種計画を立てています。詳しくは外来師長、主治医又は感染管理認定看護師にご相談ください。



ワクチン接種の副作用は？変異型への効果は？

当院職員は4月中旬に全員2回のワクチン接種を終了しました。当院での副反応は発熱・疼痛・倦怠感で数日体調を崩すものはいましたが、ショックや入院医療を要する事はありませんでした。余裕のある方は接種翌日は休みを取られた方が良いでしょう。ワクチンは従来型への予防効果は95%前後で、変異型へもある程度効果が期待できます(詳細はまだ未定)。

**新病院建設へ
進行中**

2021年3月に新病院の基本設計が終わり、次期実施設計へ向けて5月現在、業者選定の発注準備中です。

認定看護師・特定医療行為認定看護師のご紹介

当院には、ある特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を有する者として、看護協会が認定した、11分野15名の認定看護師がおります。また38種類の医療行為について、医師の具体的な指示が出る前に自らで行える特定行為看護師が3名おります。今回は**がん医療に従事する認定看護師**をご紹介します。

● 緩和ケア認定看護師

- ・疼痛、呼吸困難、全身倦怠感、浮腫などの身体的苦痛症状の緩和
- ・患者・家族への喪失と悲嘆のケア

松元和代
小林聖子
杉安歩美



緩和ケアとは、生命を脅かし命に限りがあるような病気を持つ患者とその家族に対し、痛みや呼吸苦などの**身体的な苦痛**だけでなく、気持ちの動揺・怒・不安と抑うつなどの**精神的苦痛**、家族や家計の心配・孤立感などの**社会的苦痛**、自分の存在意義・生きる意味などを問う**スピリチュアルな苦痛**などを総合的に捉え、そこから生じる苦痛を予防・緩和しながら、本人と家族のQOL(生活の質)を維持し向上させる**トータルケア**です。緩和認定看護師は、上記の緩和ケアの理念を実践すべく、緩和ケアの中心となる機動力として活動できるだけの技術や知識を習得した看護師で、地域看護師への研修指導も担います。がんの終末期だけでなく、非がん疾患ではあるが生命を脅かす状況となった**心不全**、**呼吸不全**、**腎不全**、**神経難病**などの終末期も緩和医療の対象となってきています。

がんと抗がん剤の特徴を理解した上で、安全な点滴投与の管理、抗がん剤の副作用の予測評価と予防・副作用出現時の症状の緩和と患者個々のライフスタイルにあわせたケア、さらにがんの理解・付き合い方・治療選択などの精神的サポートを行います。

また、院内外で“がん化学療法看護”のセミナー講師として地域の教育を担います。更に、安全な点滴投与管理、副作用対策、ICに関する内容、V-port管理など各部署からの相談に応じています。

● がん化学療法認定看護師

- ・がん化学療法薬の安全な取扱いと適切な投与管理
- ・副作用症状の緩和およびセルフケア支援

新村弥生
有村鮎美



● がん性疼痛認定看護師

- ・痛みの総合的な評価と個別的ケア
- ・薬剤の適切な使用および疼痛緩和

永里佳奈



がん性疼痛に関する最新の専門知識だけでなく、がん性疼痛がある患者さんの身体的、心理的な問題だけでなく就労や経済面なども含めた社会的な問題、人生の意味といったスピリチュアルな問題も総合的に判断し、その患者さんに最適なケアを計画・実施することのできる豊富な知識が必要とされます。更に、がん性疼痛に対して用いる薬剤や薬理作用について理解した上で安全、適切に使用することができ、その効果について評価することのできる技術も必要。がん性疼痛のある患者さんやその家族に対して生活上の負担を減らし、生活の質を維持し向上させるよう、医療や看護を受けている以外の時に必要とされるケアなどについて指導するとともに、常に適切な看護援助をする技術も必要とされます。

職員募集

看護師，看護助手各2-3名，薬剤師1名，を募集中。詳細については病院ホームページか，当院本田事務長，濱崎事務次長，または坂元総務課課長補佐にご相談ください。

☎ 0995-42-1171
FAX0995-42-2158



写真は深山霧島(2021年月日)
当院放射線科中村撮影

編集後記

2021年4月から広報誌を刷新しました。市民の皆様タイムリーでわかりやす話題提供や当院のご紹介を考えております。これからもよろしくお願いたします。内容についてご希望があれば下記メールアドレスへご寄稿ください。
hayato@hayato-mc.jp